

早稲田アカデミー	5年		
	算数		
学習内容	5月の学習内容 10回 総合 11回 場合の数-ならべ方- 12回 場合の数-組み合わせ方- 13回 速さとグラフ (14回 水量の変化 15回 総合)		
家庭学習ポイント	10回では6回から9回までの復習です。濃さ、売買損益（割合）、図形の移動といずれも重要単元ですので、授業と組分けテストの直しを通して理解を深めておきましょう。11回と12回は「場合の数」についてです。11回は「ならべ方」で、道順の問題では正方形のマス目に沿って進む道順を考える「イチイチ解法」についても学びます。「必ず〇点を通る」「〇点を通らない」などの条件がつく場合の対応に気をつけましょう。12回は「組み合わせ方」です。まずは数えるところからスタートし「ならべ方」との違いをしっかりと理解することが大切です。目で見て「重複」を意識し、それをさけるための作業と計算方法を学びます。13回は「速さとグラフ」です。ダイヤグラムの見方、書き方を学びますが、重要なのは「ダイヤグラムを使用して考える問題の共通点」を理解しておくことです。		
課題の把握と解決策	チェック1	「割合が苦手」という感覚を持っていませんか？	チェック
	解決策	第10回の学習と組分けテストの直しを丁寧に進めましょう	□
	チェック2	道順や数字づくりの問題について「なぜかけ算で解けるのか」説明できますか？	チェック
	解決策	まずは図を書き数えるところからスタートして説明してみましょう	□
	チェック3	2・3・4・5・8・9の倍数判定を説明できますか？	チェック
	解決策	数字づくりの問題では、場合の数の知識以外に整数に関する知識も重要です	□
	チェック4	ダイヤグラムを使用して解く問題にはどのような共通点があるか説明できますか？	チェック
	解決策	時間を「見える化」できるダイヤグラムは「時間」の要素の大きい問題を解くのに適しています	□
	チェック5	書くことを面倒くさがっていませんか？	チェック
	解決策	場合の数の問題は、入試でも「途中まで書くことで糸口が見つかる問題」が主流です	□
早稲田アカデミー	5年		
	国語		
学習内容	5月の学習内容 10回 総合 11回 随筆文(1) / 経験と感想① 主語・述語・修飾語 / 和語③ 12回 随筆文(2) / 経験と感想② 分けて〈関係〉を考える / 慣用句③ 13回 説明文・論説文(5) / 要旨① 接続関係① / 類義語 (14回 説明文・論説文(6) / 要旨② 接続関係② / 対義語① 15回 総合)		
家庭学習ポイント	10回は総合会で、6回～9回の復習です。11回以降に繰り返して定着を図りますから、特に語彙、慣用句などの復習は積極的に行いましょう。11回と12回、2回にわたって随筆文の読解になります。随筆文の基本的な読解のポイントは「事実・筆者の体験・出来事」と「筆者の考え・感想」をしっかりと分けて読み取ることです。起こった出来事や体験に対し、筆者がどのように感じたかを表現した文章がほとんどで、筆者の感想も出来事に対して批評的、批判的な立場の者が多いということも、読み進める上で知っておいて良い知識です。13回は論説文ですが、この回ではいよいよ要旨の読み取りにフォーカスします。これまで習った知識を活用し、意味段落をとらえて文全体の構成を把握します。そのうえで結論が述べられている段落（＝中心段落）、そしてさらに要旨が述べられている文（＝中心文）を探す訓練です。		
課題の把握と解決策	チェック1	慣用句や和語、類義語など語彙、語句の知識は身につけていますか？	チェック
	解決策	暗記に偏るとテストの時に使えないことが良くあります。背景の知識も同時に学びましょう	□
	チェック2	主語、述語の関係を正しく見破ることが出来ますか？	チェック
	解決策	省略されたり複数の主語が入ったりと文章にはいろんなパターンがあります。たくさん読みましょう	□
	チェック3	「随筆文の読解のポイントは」と聞かれたら説明できますか？	チェック
	解決策	「事実と意見読み分ける」といった内容がわかっているといいですね	□
	チェック4	形式段落の接続、段落の頭の語句に注目できていますか？	チェック
	解決策	関係性を踏まえ、形式段落がどんな言葉で始まるのか注目し、内容を類推してみましょう	□
	チェック5	論説文の中心段落、中心文を見つけられますか？	チェック
	解決策	文章の冒頭や最後に述べられることが多いこと、また「つまり」といった語句にも注目しましょう	□

早稲田アカデミー	5年		
	理科		
学習内容	5月の学習内容 10回 総合 11回 植物の成長 12回 水溶液の濃さ 13回 物の運動 (14回 太陽系の天体 15回 総合)		
家庭学習ポイント	10回は総合回で復習です。気象、てこと輪軸、植物のつくりなど重要単元がテーマになりますので、10回の学習内容および公開組分けテストの直しに力を入れておきましょう。11回では植物の種子の発芽、成長、開花、結実について学びます。種子で増える植物、地下茎や球根のような体の一部から増える植物など、覚えることが多い単元です。できるだけ丸暗記せず、仲間ごとの共通点と違いに注目するとよいでしょう。12回のテーマは水溶液、特に濃さの計算や溶解度に関する計算は重要です。水溶液については定義（濃さがどこも一様・透明・時間がたっても溶けているものが分離しないなど）をしっかりと理解し記憶しましょう。また溶解度計算については「水の重さ・水温・解ける量」を書き出し、水の量や温度がどのように変化したかをくらべて解くことを習慣とすることが大切です。13回はふりこや物の運動についてです。ふりこの長さ、おもりの重さ、振れ幅と周期の関係は定番の出題ですから「ふりこの周期は長さのみによって変化する」ということを軸に理解しておくことが重要です。		
課題の把握と解決策	チェック1	総合回での学習で、過去の仕上げができていますか？	チェック
	解決策	ピンポイントで復習が出来るチャンスです。過去単元をしっかりと見直しましょう	□
	チェック2	週テスト、組分けテストの直しは毎回できていますか？	チェック
	解決策	答えを直すだけでなく、再度考えて「解き直す」ことが重要です	□
	チェック3	呼吸と光合成の違いを説明できますか？	チェック
	解決策	行うことでエネルギーが出来る事、エネルギーを得て行う事、という全く逆のはたらきです	□
	チェック4	溶解度計算で計算ミスを連発していませんか？	チェック
	解決策	小数第2位までの計算を多用します。「計算し終えるまでの集中」を意識しましょう	□
	チェック5	ふりこの長さや周期の関係を正しく説明できますか？	チェック
	解決策	長さが「2×2倍」で周期は2倍、長さが「3×3倍」で周期は3倍ですね	□
早稲田アカデミー	5年		
	社会		
学習内容	5月の学習内容 10回 総合 11回 九州地方 12回 中国・四国地方 13回 近畿地方 (14回 中部地方 15回 総合)		
家庭学習ポイント	第10回は総合回。6～9回の復習となります。これまではこれまで、農林水産業・工業・交通とジャンルごとに学習してきましたが、いよいよ11回からは地方別の地理の学習に入ります。11回は九州地方です。農林水産行では有明海ののり・干拓、大村湾の真珠、八代平野のいぐさ、宮崎平野の促成栽培（ピーマン）、シラス台地の畜産・さつまいもなど、火山では阿蘇山や雲仙岳、交通機関では九州新幹線など、覚えるべきことは多数ですが4年生の「一年中暖かい地方の暮らし」（沖縄県）などの参考に学習を進めていきましょう。12回は中国・四国地方、13回は近畿地方です。それぞれの地方の学習においては、出てきた地名を地図帳で確認しながら学習し、自分でも白地図にまとめるなどしながら進めることが大切です。		
課題の把握と解決策	チェック1	5月の組分けテストの直しはできましたか？	チェック
	解決策	産業別の地理学習はここまでです。知識の総括をしておく必要があります	□
	チェック2	九州地方で唯一、都道府県名と県庁所在地名が一致しないのは？	チェック
	解決策	沖縄県です。あらためて47都道府県の県庁所在地名を確認しておきましょう	□
	チェック3	本四連絡橋3つの名前を答えられますか？	チェック
	解決策	瀬戸大橋、明石海峡大橋、瀬戸内しまなみ海道の3つです。地図を見ながら位置を覚えましょう	□
	チェック4	上記、本四連絡橋ができたことによるメリットとデメリットを説明できますか？	チェック
	解決策	移動時間の短縮はもちろんですが、地元の消費者の流出という視点でも考えましょう	□
	チェック5	海上にあることで騒音対策になり、24時間離発着可能な空港の名前を答えられますか？	チェック
	解決策	関西国際空港ですね。地図上での位置も確認しておきましょう	□